

お子さんの発達での気がかりについて ～こども発達相談センターによくある相談から～

なかなか言葉がでない

3歳までは発達の個人差も大きいです。言葉が出るには、周囲の音・声が『聞こえる』、周囲が話す『意味が分かる』、『人と関わろうとする』などの力が必要です。

確認ポイント

『聞こえる』

テレビ、電話、インターホンの音や音量変化に反応しますか
後ろから名前を呼ぶと振り向く、声をかけると視線を合わせるなど反応しますか

『意味が分かる』

「～はどこ」「～持ってきて」「～するよ」などの声掛けに正しく反応しますか
毎日の生活でよく使う言葉の意味がわかると、話せるようになってきます

『人と関わろうとする』

パパやママに向けて、「ア－ア－」「マムマム」といった言葉は出ますか
声を出しながら動作や指差して伝えようとする様子などがありますか

言葉を育てる対応ポイント

- ・早寝早起き、ごはん・おやつ時間を決めるなど、生活リズムを整える
- ・親子で体を使って遊ぶ時間、絵本を読む時間などをつくる
- ・子どもへ話しかけるときには視線を合わせて、ジェスチャーも試してみる
- ・無理やり言葉を言わせることはしない
- ・テレビやスマートフォンは時間を決めて使う

対応のポイントは、すべてのお子さんに合うわけではありません

対応がうまくいかない、心配が続く場合は相談してみましょう

岡崎市こども発達相談センター専門相談（予約制・☎0564-23-7067）

岡崎市こども発達センター

すくも
すくすくそだつこども



岡崎市こども発達センターマスコットキャラクター



種の妖精
すーりん



葉っぱの妖精
くーりん



花の妖精
もーりん

こども発達センターの事業内容 一部を紹介するよ！



1・2階 支援センター

TEL : 0564-21-6431
FAX : 0564-25-1299

お子さんの発達状況に合わせて支援計画を作成し、小集団の中で遊びや生活を通し発達を促す支援を行います。
また、お子さんがより良い環境で育つよう、お子さんに関わる方々を応援します。

規則正しい生活リズムをつくり、日常生活動作（食事・着脱・排泄など）の支援方法や、お子さんの特性にあわせた環境や関わり方を保護者の方と一緒に考え実践していきます。お子さんが楽しめる遊びを工夫しています！

♪ 事業紹介 ♪

親子通所：めばえ

単独通所：わかば

保育後療育：つばさ

並行通園：こだま

保育所等訪問支援：あおい

上記、事業の中から一人一人にあった療育サービスを提案します。

わかば相談支援事業所
☎ 0564-24-3060
お子さんの状況に応じたサービスの
情報提供・調整及び児童発達支援利用
計画を作成します。



3階 医療センター

TEL : 0564-23-7624
FAX : 0564-23-7635

医師、看護師、言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士、保育士等のスタッフにより、お子さんの様子を総合的に捉えた評価と支援プランを提案します。
医療センター内の支援では、医師による診察や各スタッフが行う個別支援・集団支援を実施し、保護者の方と一緒にお子さんの特性の捉え方について考え、家庭や園での関わり方のアドバイスをします。
必要な場合は他機関と連携し、切れ目ない子育て支援を目指します。



3階 相談センター

TEL : 0564-23-7067
FAX : 0564-23-7538

お子さんの発達についての心配や対応方法について、気軽に相談ができます。
相談は事前予約制になります。お子さんの発達に心配や不安なことがある保護者の方は、一度お電話ください。

♪ 事業紹介 ♪

にこにこきっず1

- 親子遊びや集団遊びを通して、お子さんの得意なこと・好きなこと、苦手なこと・嫌いなことを保護者の方と共有し、日常の対応方法などをアドバイスします。
- 継続して参加してもらい、お子さんとご家庭に合った支援の提案をします。

